

第580号 2012年2月26日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570



お元気ですか! 志村 たかよし です

「地域の声も聞かずに決めないで」「なぜ民間にするのか理解できない」「マイナス面も明らかにして」…の声

新川児童館への指定管理者制度導入についての説明会

2月15日、京橋八之部青少年地区委員会からの要請を受け、中央区は「新川児童館の指定管理者制度導入」についての説明会を開きました。

「新川児童館の指定管理者制度導入」の計画とは、明正小学校の建て替えにともない、新しくできる複合施設に新川児童館を移し、管理・運営をこれまでの区営から企業などの指定管理者にまかせようというものです。

区は、児童館を中高生にも利用できるように夜8時まで利用可能とし、サービス向上のためには民間でなければならぬと民間業者に丸投げしようとしています。

また、スケジュールも急なもので、区営から民営への引き継ぎをスムーズにするため、来年4月から運営する企業の館長を配置したいとしています。

説明会では地区委員や保護者からたくさん質問や意見（下記参照）がだされました。地域の声を無視しての強行は許されません。

青少年地区委員、保護者の方たちから出された意見の一部

★「新川児童館の計画には、中高生のためのスタジオも、バスケットができるホールもない。児童館は地域の基幹となつている。区の基準では、区営の分類に入るではないか」

★「地域全体で焼きいも会などの行事をやってきた。株式会社になったら参加できるのか。青少年地区委員会と児童館との関係をつかき作ってきたのになぜ民間にしてつづすのか」

★「指定管理者にする必要性が感じられない。今の体制を補強しないで民間にするのか。区はもっと努力すべきではないか」

★「新しい地域なら歓迎されるだろうが、新川は別だ。昔から町に住む人たちが子どもたちと係わってきた。その声も聞かないで結論を押し付けるのか」

★「先生との相談がしにくくなる」

★「指定管理者制度を導入しなくても施設が新しくなればうまくいくかもしれない。まず、直営でやってみてそれから指定管理者でも良いのではないか」

★「メリットばかり説明するが、マイナス面も説明してほしい」

★「指定管理者制度導入を知らないママがたくさんいる。末端のママたちの意見を聞いてもらえないのか。意見を言えない中で決めてしまうのか」



映画上映会 & 石巻市長招いたパネルディスカッション



2月16日、銀座プロッサムで映画「エクレール・お菓子放浪記」の上映会と石巻市長、中央区長などによる「復興を考える大震災時の対策や避難方法を学ぶ」をテーマにしたパネルディスカッション（東京中央ロータリー・クラブ主催、中央区後援）がおこなわれました。

この映画は「戦中・戦後を生き抜いた少年の姿を通じてお菓子への憧れを平和への希望にまで昇華したとも言うべき作品（パンフレットより）」でした。

ディスカッションでは、被災地石巻市の状況や中央区での防災の取り組みとともに、区民ボランティアの支援活動や帝国ホテル総料理長の被災地での経験が語られました。

「原発いらない！」銀座でバレンタインパレード



銀座のまちを元気にパレードしました。

2月14日の昼休み、銀座に「原発なんかもういらない！」の声がひびきました。

毎年恒例、今年で27回を迎えたバレンタインデーの日の銀座でのパレードです。

主催は、新日本婦人の会中央支部、中央区母親大会連絡会、9条を守る損保女性OBの会です。

日本共産党中央区議団からは、私と小栗智恵子議員が参加しました。

パレード前の集会では、小栗議員が「原発をなくすためにとどまらばりましょう」とあいさつしました。

雨が降りそうな天気でしたが、パレード中は降ることもなく、私もみなさんといっしょにアピールしながら歩きました。

「意見、ご要望など、お気軽にご連絡ください」(03-5561-6300)